

登録編

まずはブラウザ（インターネットをする為のソフト）を
グーグルクロームに設定してください。

最初は大抵下の画像のインターネットエクスプローラー
になってますが・・・



これをグーグルクロームに変更して下さい。



グーグルクロームに変更する主な理由は以下です

1、動作が軽い。

他のブラウザに比べて、動作が速いので非常に使いやすいです。

2、拡張機能が使える

また後の章でお話ししますが、インターネットを使って商品を仕入れる時に
グーグルクロームの拡張機能を使うととても便利です。

アマゾン出品者登録



アマゾンで出品していく為に、アマゾン出品者登録をしていきましょう。

15分ほどで終了してしまいます。

この辺りも簡単に始められる理由の一つですね。

登録する際に必要な物は以下3点です。

- ・メールアドレス
- ・クレジットカード
- ・電話番号（登録時の認証用）

これだけで出品者登録ができます！

サクッと登録しちゃいましょう。

大口出品サービスと小口出品サービスの二つのプランがあるのですが、下記のような違いがあります。

大口出品

- ・ 月間手数料 4900円（3か月無料）
- ・ 出品数やカテゴリーが無制限
- ・ 大量の商品もまとめて出品登録が可能
- ・ データ分析レポートが利用可能

小口出品

- ・ Amazonに既にある商品のみ出品可能
- ・ 商品を出品するには1商品ごとに登録が必要

難しいことが書かれていますが簡単に言えば、

「沢山出品するつもりなら大口出品にしてください」

ということです。

こちらの教材をしっかりと実践していただければ、

月収50万円を3か月で稼ぐことも十分可能ですので

私は大口出品者として登録することをお勧めします。

ヤフージャパンのID



販売先をアマゾンだけではなくてヤフーオークションを使ったり、

ヤフーオークションから仕入れて、アマゾンで販売するだけで利益が出たりもしますので

必ずヤフオクIDも取得しておきましょう。

まず、[Yahoo! Japan ID登録](#)を開きます。

各項目に自分が希望するID情報やお客様情報を入力します。

入力が完了したら登録ボタンを押して、完了すればIDが表示されます。

それだけですので、これもすぐに作ってしまいましょう。

クレジットカードの紹介



仕入れでは現金よりもクレジットカードを使うことをお勧めしております。

その理由はポイントです。

ご存じない方が多いのですが、クレジットカードによってポイントの還元率が大きく変わっていきます。

多くのカードが0、5%のポイント還元率なのですが、驚異の1、75%の還元率を誇るクレジットカードが存在します。

それはREXカードです。

こちらのカードは初年度の年会費も無料でお使いいただけます。

ざっと計算しますと、

例えば1年間にカードを使って仕入れを100万円分したとします。

0、5%のカードと、1、75%のカードで仕入れた時を比べると、

$$100\text{万円} \times 0、5\% = 5,000\text{円}$$

$$100\text{万円} \times 1、75\% = 17,500\text{円}$$

その差は12500円になります。

これが倍になれば35,000円、さらに倍になれば70,000円・・・

登録編

年間で1000万円を仕入れに使う事になれば、125,000円の差が生まれます。

ここはREXカードを使わない理由はありませんね。

それと同じようなカードで漢方スタイルカードというものもあります。

こちらと同じ還元率ですので登録しておきましょう。

クレジットカードを登録する際には、上限が一番高い数字を入れておいてください。

REXカード、漢方スタイルカード共に場合は60万円です。

チリも積もれば大金になりますので、しっかり使ってください。



お勧めアプリ

せどりをする上で、スマートフォンにインストールしておくると便利なアプリを紹介します。

1、せどりすと

iphone対応のアプリです。このアプリは無料なのに昨日が素晴らしいです。

使わないという様な方もいらっしゃると思いますが、初心者の方は必ず使う様にしてください。

せどりすとという名前の通り、せどりをしている方専用のアプリなのでしっかり使いこなせる様にしましょう。

非常に簡単ですので、説明していきます。

(1) バーコードをスキャンし読み取る

商品にはバーコード（JANコード）と呼ばれる物が張り付いています。



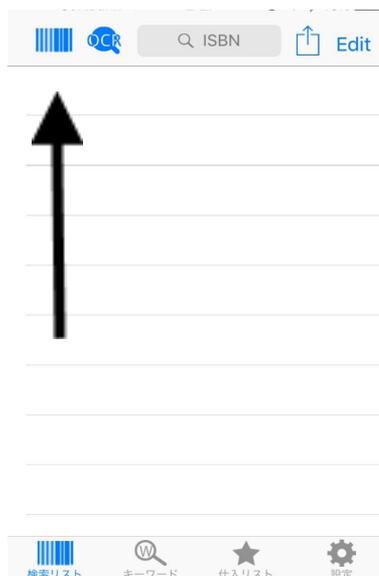
こちらのコードをアプリを使って読み込んでいきます。

下の画像1のバーコードの部分をタップすると、リサーチを開始します。

普通のカメラの様な画面に切り替わりますので、それにバーコードを映す様に持っていきます。

すると画像2の様に自動でスキャンをしてくれます。

画像 1



画像 2



これはバーコードから自動的にアマゾンの商品呼び起こしてる状態です。
簡単で良いですね。

読み込んだ後は、モノレートというサイトにジャンプします。
それもこのアプリの中で出来ますので、非常に便利です。



バーコードを読み込んだ商品が表示されました。

ここから、この商品が実際に売れている商品かを見るためには、また矢印の部分をタップします。

するとモノレートというサイトに自動でジャンプしてくれます。

このモノレートというサイトはアマゾンの商品がいつ幾らで売れたか等の細かい情報が載ってます。

この商品が仕入れができる商品かどうかの判断をします。

(2) バーコードリーダーを使って商品を読み取る

ビームと呼ばれるバーコードリーダーを使って商品のバーコードを読み取るスタイルです。

店舗せどりをするときには一番ポピュラーなリサーチ方法です。

【ビームの種類】

MS910

値段：新品2万円前後

スキャン速度：240スキャン/秒

重量：24.6g

読取距離：3.5~18cm

サイズ：18×24×65



KDC200

値段：新品35000円前後

スキャン速度：100スキャン/秒

重量：34g

読取距離：2～30cm
サイズ：
32×62×15



ビームは何のために使うかといいますと、バーコードを読み込むためのツールになります。

Bluetoothですのでワイヤレスですし、小型で手のひらに収まるサイズなので使い勝手もいいです。

スペックは大きく変わりませんが、

大きな違いは、KDC200はガラスケースの中も読み取れるということです。

これらビームは無くてもせどりは問題無くできますが、初心者の方はできるだけ使うことをお勧めいたします。

最初から成果を出すためには、検索スピードを上げてしっかりリサーチしていくことが肝心です。

ビームとせどりすとの紐付けは、ビームを購入した時に付属している説明書に記載されてますのでご安心ください。

(3) 商品の検索キーワードを入力して読み取る

登録編

新品や箱付きの商品はバーコードが大体ついてるのですが、箱にバーコードの記載がない物や、中古の商品は型番や商品タイトルといったその商品特有のキーワードでリサーチをしていきます。

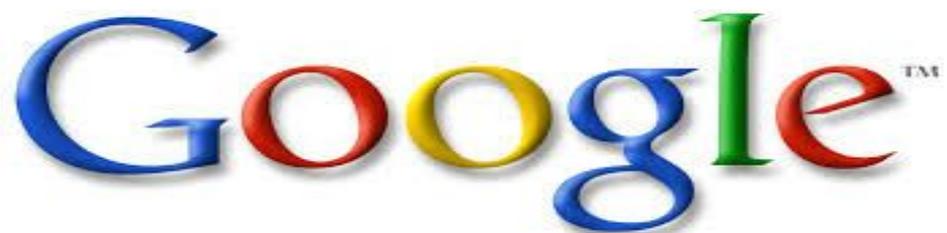


こちらのキーワードをタップしてもらって、商品のタイトル・型番を入力します。

すると、先ほどのバーコードを読み込んだ時と同じような情報が出てきますので、

先述したモノレートにジャンプするボタンをタップして、仕入れできる商品かの判断をしていきます。

Googleアカウントの作成



仕入れに行く時に、ただ闇雲に近くの店舗に行ってしまうと大幅な時間のロスになってしまいます。

いかに効率良く店舗を回るのかも大きな鍵になります。

そこで使うのが[グーグルマップ](#)。

聞いたことが有る人も多いと思いますが、このグーグルマップを使って仕入れに行くルートを作っていきます。

そのためにはGoogleでアカウントを取得する必要がありますので、お持ちでない方は作っておきましょう。